

# 令和4年度 事業報告

## 1 概況

令和4年度は、第3次中期計画の初年度として、新型コロナウイルス感染防止対策を継続しつつ、ウィズコロナを念頭に置く中で、4年ぶりの感謝祭開催や各種マラソンボランティア参加をはじめ積極的な各種事業の実施に取り組みました。

会員拡大については、地域開催も含めた積極的な入会説明会の実施などにより、会員数は3月末で2,067人と令和3年度末と比べ146人の大幅な増加となり、中期計画の目標値を達成することができました。

契約金額については、中期計画の目標値には届きませんでした。前年度と比べ、請負・委任事業で0.5%の微減、派遣事業は12.7%の増加となりました。

事業実績については、契約金額8億7,176万円（請負・委任6億5,366万円、派遣事業2億1,810万円（前年度対比2.5%増））、受注件数8,281件（請負・委任8,037件、派遣事業244件（前年度対比2.5%増））となっております。

こうした成果を得ましたことは、会員、役職員がひとつになって事業運営に取り組んできた賜物であると感謝するとともに、これからも、共に働き、共に助け合う多くの会員の皆様とともに、地域の皆様の期待と信頼にこたえられる魅力あるセンターとして、事業運営に取り組んでまいります。

以下、令和4年度に実施した主な事業について報告いたします。

### (1) 安全・適正就業の提供事業

- ① 安全就業の徹底、「目指せ、事故ゼロ！」を安全目標に掲げ、除草・剪定現場（6現場15班）のみならず、市無料駐輪場・市民病院等における一般作業のパトロールも実施し、より多くの作業現場の安全確認と指導・アドバイスをを行いました。
- ② 安全就業促進のための「安全・安心のつどい」を開催し「交通安全講話」による安全の意識の向上を行うとともに、「こんな感染症に注意！」をテーマに、感染症の種類や日常生活における感染予防を学びました。（121名参加）
- ③ 飛び石事故対策のため、石の飛びにくい刃「石トバサーズ」を推奨して参りましたが、事故件数に減少が見られなかったため、安全・適正就業委員会で検

討した結果、刈り方に問題があると判断し、「草の刈り方講習」を実施しました。各会員のスイングチェックをすることで、正しい刈り方を身につけることができました。

- ④ 適正な就業形態を確保するため、新規の受注にあたっては「適正就業ガイドライン」を活用しながら、発注者に適正な就業方法等を周知し理解を得ました。
- ⑤ 安全標語（安全就業の部、交通安全の部）を募集した結果、より多くの会員からの応募があり、安全意識の高揚を図ることができました。
- ⑥ 適正就業によるワークシェアリングを行い、就業会員の増加に努めました。
- ⑦ 派遣事業において定期に開催される衛生委員会では、就業先における現場での就業状況や諸問題について産業医を交え検証し、安全就業スローガンや産業医からのメッセージなどを記載した「衛生委員会通信」を偶数月に発行しました。また、名古屋市で開催された「交通安全等教育訓練」に参加しました。

## （２） 組織基盤強化事業

- ① ハローワークにおいて、来場者にシルバー人材センターの概要と入会説明会開催日の案内を行いました。
- ② 毎月開催の入会説明会については、新型コロナ禍のなか感染対策を行い、定例入会説明会（年２２回）、出張入会説明会（年１２回）、を行い会員の増加に努めました。全体で、参加者数は４１７人、入会者数は３８０人となりました。
- ③ 就業開拓の推進として、豊橋市、企業、家庭を対象に新規就業先の開拓を進め、就業情報を毎月発行し、事務所内への掲示とともに未就業会員へ毎月郵送し、マッチング調整を行いました。
- ④ 独自事業の拡充として、ソーイング班が道の駅で出店販売を行いました。また、焼き芋班は１０月から３月中旬にかけて週１回程度センター前での販売、竹細工班は青少年センターで講師として活躍、刃物研ぎ班は道の駅など市内各所で活動、しめ縄班は神社を中心に販路の維持に努めました。
- ⑤ 理事会、専門部会・委員会等の一層の活性化を図り、事務局と連携しながら事業運営の強化に努めました。

## （３） 普及啓発事業

- ① 会報誌「いきいきシルバー豊橋」を年２回発行し、センター事業活動の周知に努めました。
- ② 女性委員会の企画により、女性会員を対象とした「小物づくり講座」、「健康体操講座」、「レクリエーション体操講座」「絵手紙講座」、「ラッピング講座」「味

増づくり講座」を開催しました。

- ③ 地域貢献活動については、穂の国豊橋ハーフマラソンにおいて、延べ201名がボランティアとしてお馴染みのオレンジジャンパーを着て参加し、存在感を大いにPRしました。また、令和3年度にコロナ禍により中止した地域班の活性化を目的とした市内8公園での一斉清掃の活動を再開しました。
- ④ 「のびるん de スクール」の派遣事業は、昨年度の12校から52校全小学校での実施となり、就業会員がおそろいのオレンジジャンパーや腕章をつけ、各地域での普及啓発に努めました。

#### (4) 各種講習、研修、訓練事業

会員の知識、技能の向上等を図るため、美味しいコーヒーの淹れ方、ウォーキング、除草・剪定などの各種講習会を実施しました。また、総務省の「情報通信利用促進支援事業補助金」を活用した初心者向けスマホ教室を実施し、市内在住の高齢者や会員さんのデジタル格差を解消できるよう取り組みました。なお、ツイッターにより講習会等の様子を配信し、センター活動の周知に努めました。

#### (5) 指定管理事業

老人福祉センターにおいては、コロナ禍の影響を受け、ここ数年施設利用者の数も大きく落ち込みましたが、年明け後になってやや回復傾向がみられ前年度と比べ利用者数は19,704人の増加となりました。

また、高齢者活動センターは、前年並の実績となりました。

(延べ利用者数：老人福祉センター166,094人、高齢者活動センター17,866人)

なお、豊橋市青少年センターのちょこっと講座では、「水辺の昆虫観察」、「プログラミングの基礎と頭の体操」など新規講座も取り入れ、世代を超えた交流に努めました。